

**2014年1月期12月度 月次業績動向 (2013年11月21日～2013年12月20日)**
**会社名 ピープル株式会社**

(http://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 桐瀬千鶴子

上場取引所: 東証JASDAQ

コード: 7865

TEL: 03-3862-2768

問い合わせ先 IR担当 飛田留美子

(単位:千円)

科目	《月次の対比》			《期初からの累計期間の対比》			《過去12ヶ月累積の対比》		
	2013年1月期 12月度	2014年1月期 12月度	前年 同月比	12/1/21～ 12/12/20	13/1/21～ 13/12/20	前年 同期間比	11/12/21～ 12/12/20	12/12/21～ 13/12/20	前年 同期間比
売上高	350,355	438,293	125.1%	2,691,826	3,133,650	116.4%	2,798,337	3,293,309	117.7%
営業利益	81,725	86,034	105.3%	197,706	203,223	102.8%	110,400	160,551	145.4%
経常利益	83,056	100,423	120.9%	205,231	243,998	118.9%	115,475	200,133	173.3%
税引前利益	83,056	100,415	120.9%	205,222	243,990	118.9%	115,470	200,125	173.3%
流動資産	2,103,252	2,136,688	101.6%	<b>【2014年1月期通期(2013/1/21～2014/1/20) 業績予想】</b> (2013年12月2日発表) ・売上高 32億76百万円 (前年同期間比 14.9%増) ・営業利益 1億25百万円 (前年同期間比 19.3%減) ・経常利益 1億79百万円 (前年同期間比 11.5%増) ・当期純利益 1億4百万円 (前年同期間比 11.8%増)					
固定資産	154,873	162,693	105.0%						
流動負債	367,660	361,665	98.4%						
固定負債	50,000	50,000	100.0%						
純資産	1,840,465	1,887,715	102.6%						
総資産	2,258,124	2,299,380	101.8%						

**商品別売上高**

商品カテゴリー名	2013年1月期 12月度	2014年1月期 12月度	当月 構成比	12/1/21～ 12/12/20	13/1/21～ 13/12/20	当期間 構成比	11/12/21～ 12/12/20	12/12/21～ 13/12/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	168,603	143,691	32.8%	1,052,663	1,068,546	34.1%	1,091,203	1,108,185	33.7%
女兒玩具	103,800	115,911	26.5%	589,600	618,750	19.8%	622,458	653,380	19.8%
遊具・乗り物	65,044	69,379	15.8%	611,437	526,486	16.8%	629,467	538,980	16.4%
その他	12,908	109,312	24.9%	438,126	919,868	29.3%	455,208	992,764	30.1%
合計	350,355	438,293	100.0%	2,691,826	3,133,650	100.0%	2,798,337	3,293,309	100.0%

**12月度新発売商品**

商品カテゴリー名	商品名	発売日	標準小売価格(税込)
遊具・乗り物	「補助輪パスして ラクショールライダー」 (ブルーメタリック・ピンクメタリック計2色)	2013年11月21日	各¥20,790

当12月度のクリスマス本格需要月に向け、玩具部門の流通在庫は、前月11月度までに順調に且つ計画的に確保されましたが、店頭在庫消化は予想以上に鈍く、当12月度での補充注文は極端に鈍化しました。

X'masプレゼント早期購入を誘導する販売店のチラシ訴求による集客効果も弱く、玩具市場全般に品薄商品も少ないことから、消費者の玩具店での購入は12月21日～23日(3日間)に極端に集中し、積み込みが出来ない一般玩具販売は3日間での欠品も余儀なくされた為、当12月度売上に影響しました。自転車の低迷を含む国内販売伸び悩みの一方、海外販売では翌1月度の出荷予定分の船積み当12月度に早まったことで加算され、当12月度の総売上高は4億38百万円、前年同月比では25.1%増となりました。

玩具部門の知育・乳児カテゴリーの3歳未満市場では、当社のような定番商材が底堅く健闘した一方、高額タブレット型知育玩具等が新トレンド商品として消費者需要を掴み、アナログ玩具はメーカー全般苦戦した模様です。しかし、女兒玩具カテゴリーのお人形シリーズでは前年を超え好調に推移したことで、当社では玩具全般の伸び悩みを食い止めています。

遊具・乗り物カテゴリーでは、「いきなり自転車」シリーズが幼児車全般の低迷の中でも健闘している方ですが、足けりバイク系商品が、インターネット、雑貨、スポーツ等の流通で多品種新登場し、幼児車市場に影響を与えている様子もみえました。そうした状況下、当社は当12月度で、「足けりバイク」を卒業した4歳前後のお子様をターゲットに足けり機能を備えた18インチ自転車「補助輪パスしてラクショールライダー(税込20,790円)」の新製品先行テスト販売の開始に踏み切りました。